# 〜震災復興20年の 動跡

農政環境部治山課、 神戸県民センター六甲治山事務所、 神戸土木事務所

## はじめに

甲山の災害の状況を、広く県民の方に知っていた おいて、「六甲山の災害展」を開催しました。 日の約2週間にわたり、人と防災未来センターに んでもらうため、夏休み期間中の8月19日から31 だき、ゲリラ豪雨や地震等への備えの大切さを学 過去から度重なる土砂災害等が発生している六

ばタンと一緒に学ぶ防災教室など、様々な企画を 会場では、パネルの展示や模型実験の実演、 山地災害への備えと注意を呼びかけまし

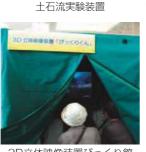
## 六甲山の土砂災害写真のパネル展示

災後の新たな取組」のブースを設けて、 い斜面工法の紹介を行いました。 加え、「阪神・淡路大震災20年事業」として、「震 展示パネル (阪神大水害 昭和13年被災状況) 地震に強 地震に強い斜面工法ビデオ説明 (振動台模型での実験状況)



## 3. 体験ブース

像と音響の迫力には、土石流の恐ろしさをリアル など、多くの質問や感想があがりました。 味深く観察し、「土石流のスピードはどれくらい」 様子や模型の治山ダムが街を守っている様子を興 は、家や道路が瞬く間に土石流に埋もれてしまう に体感できると好評でした。また、土石流実験で た『土石流実験装置』 D立体映像装置びっくり館』とジオラマを使っ が、土石流の発生等を3D映像で見られる『3 「ダムに溜まった土砂は取ってくれるのですか\_ 家族連れや小学生に大変人気があったブース 一の実演でした。3D立体映



3D立体映像装置びっくり館

質が広島と同じ花崗岩であったということもあ

た。六甲山は先人のご尽力により、はげ山への植

土砂災害への熱心な質問が多く寄せられまし

災害が発生した直後であったことや、六甲山の地

今回の災害展は、丹波市や広島市で甚大な土砂

げられています。これら取組みへの感謝と災害の 林や多数の治山ダムなど、安全な県土がつくり上



-クルKUMCの大学生や 関西大学サー はばタンがお手伝い

## おわりに

辺の危険箇所や避難場所を調べてもらいました。 ザードマップ」を来客者に操作してもらい、自宅周 うため、県ホームページに掲載している「CGハ (自分の命は自分で守る)の意識を高めてもら 「危険箇所を知ろう」ブース ればと願っています。 続けるうえで、この災害展が少しでもお役に立て 教訓を忘れることなく、地域や世代を越えて伝え

### 5 防災教室ブース

ばタン」と一緒に、「遊びながら、楽しく防災を 持ち出し袋のなかみは?』クイズで、リュックサ 学ぼう」をコンセプトとして、子供たちに『非常 の場が提供でき、防災意識の向上の相乗効果が大 やヒントを出してもらうなど、きめ細やかな学び えを親子で考えてもらいました。関西大学生から ックに詰め込む減災グッズ探しなど、災害への備 UMCの大学生らと今回初登場のマスコット「は いに期待できました。 今回も昨年度に引き続き、関西大学サークル クイズに挑戦している子供たちにアドバイス